

令和5年度第2回大磯町文化財専門委員会議 議事録

1. 日 時 令和5年12月22日(金)
開会時間/午後2時 閉会時間/午後3時50分

2. 場 所 大磯町立図書館 2階(大)会議室

3. 出席者

(委 員) 薄井和男/委員長
田尾誠敏/副委員長
山崎祐子/委員
田中徳久/委員
細井 守/委員
山崎鯛介/委員

(事務局) 熊澤 久/教育長
大槻直行/教育部長
北水慶一/生涯学習課長
熊澤香織/生涯学習課副課長
東 真江/生涯学習課係長
原田睦子/生涯学習課主任主事

- ・委嘱式
- ・委員長、副委員長選出
- ・委員長、副委員長挨拶

4. 傍聴者 無し

(開 会)

- ・会議成立の確認
- ・会議公開の確認
- ・傍聴者有無確認
- ・資料の確認

5. 前回会議録の確認

.

6. 議事

議題（1）令和5年度文化財関連事業の進捗状況について

事務局から資料の説明を行った。

- ・町指定文化財「稲荷神社の樹林」について、周辺住民から隣接道路に越境し、車両通行の妨げになっている旨連絡があり、町指定文化財修理等補助金を活用して、所有者が剪定を行った。
- ・令和6年1月20日に、文化財消防訓練を寺坂の王福寺で実施する予定。
- ・文化財説明板板面張替修繕について、委員の皆様にご校正いただき感謝申し上げます。12月28日までに修繕完了予定。
- ・令和5年10月18日に、大磯在住の藤塚松星氏が、竹工芸の分野で国の重要無形文化財保持者として追加認定された。郷土資料館の秋季企画展示は、令和4年度から準備していた。大磯在住の三人の作家、陶芸家の川瀬忍氏、竹芸家の藤塚松星氏、写真家の増尾峰明氏の作品を展示した。

主な質疑応答は以下のとおり

[樹木の剪定伐採について]

(委員) 県指定文化財「鷹取神社の社叢林」の樹木剪定伐採について。

(事務局) 管理者の生沢地区から鷹取神社社殿周囲の樹木の剪定伐採について連絡があり、9月初旬に文化財専門委員の田中委員に現地確認をお願いし助言いただいた。樹木は樹勢が弱くなり倒木の恐れがあるもの等は伐採し、社殿屋根に向かって伸びた枝葉を剪定する。県費・町費・管理所有者で費用負担し、令和6年3月末までに実施する予定。

(委員) 他市町村でも、キャンプ場で根腐れにより倒木事故があったと聞いている。天然記念物の場合は、文化財指定後に周囲に後から家が建つ為、住民等からの苦情はいたしかたない考える。

[利活用奨励交付金について]

(委員) 利活用奨励交付金について、補足説明してほしい。

(事務局) 大磯町文化財利活用奨励交付金は、国・県・町指定や国登録を対象に普及公開事業（幟旗の製作等）や保存継承（塗裝修繕等）を目的として、希望する所有者に予算を希望団体数で割り交付するもの。

議題（2）大磯町文化財指定候補について

事務局から資料の説明を行い、委員の意見をうかがった。

- ・大磯宿場絵図については、大磯の象徴的な物と考える。
- ・大磯宿場絵図に劣化が見られる。
- ・毘沙門天立像は平安時代の素朴な像で、室町時代の白山大権現立像とともに候補として考えるのはどうか。
- ・無形民俗文化財については、調査等を急いだほうがよいのではないかと。

議題（3）その他

- ・釜口古墳石室のモニタリング（移動）調査の進捗について。町部局から、今後、担当課として町内の史跡をどのように守っていくのか、古墳・横穴墓群全体の保存計画がわからないとの指摘があり、町の総合計画実施計画事業に認定されなかった。次回会議や来年度の会議で、史跡の保全方針を検討していきたい。
- ・次回の文化財専門委員会議は、2月または3月の予定。

（ 閉 会 ）